

●実力テストの復習方法について（TAC 電験講座講師 入江）

1.要点速修コース・単科生の方へ

実力テストの受験お疲れ様でした。実力テストは、今まで学習した全範囲の中で、必ず押さえてほしい基本内容を網羅したものとなっています。その目的は、「合格に必須となる内容の基本が身についているか」、「基本問題を確実に得点できるか」を確認することです。

これまで多くの専門知識を学んできましたが、電験三種レベルの試験では、学んだことがただそのまま出題されることは少なく、特に計算問題は、公式や原理を使いこなせるかが重要になります。なので、今後本試験問題を解くためには、「今まで学んだ内容(インプット)を問題回答(アウトプット)へ繋げられるか」、がポイントとなり、今回の実力テストがその第1歩となります。

電験三種で学ぶ内容は普段考えることの無い新しい概念が多く、知識が定着するのには多少の時間が必要となり、習ってすぐは解けないことが多いので、現時点での目標点は60点で十分ですが、最終的には100点をとれるよう、繰り返し解き、文字通り実力を養ってほしいと思います。

また、どの問題も解くだけでそのテーマの復習となるように作成しておりますので、全体の復習として、さらには、膨大な学習内容の中からご自身の弱点・苦手分野のあぶり出しとしても、活用いただければと思います。

ちなみに、苦手分野によって復習方法は変わります。例えば、知識問題で失点が多いのであれば、テキストの読み返し、実力テストの時間が足りないのであれば、計算速度や問題の読み込み速度を向上するため過去問題を解くなど、様々な方法が考えられますので、効率よく学習を進められるよう、ご一考ください。

今後、過去問題を解き、様々な問題への対応力を磨く練習の時期となります。これからが本番になりますので、焦らず計画的に、継続して頑張りましょう！

2.演習コース・単科生の方へ

実力テストの受験お疲れ様でした。実力テストは、今まで学習した全範囲の中で、必ず押さえてほしい基本内容を網羅したものになっています。その目的は、「合格に必須となる内容の基本が身についているか」、「基本問題を確実に得点できるか」を確認することです。

本試験後、自分の回答を見ると、難しい問題が解けなかったという点が目立ちますが、それ以上に、解けたと思った問題をケアレスミスで失点しているということがよくあります。電験三種は難問を解く試験ではなく、基本問題をミス・勘違いなく確実に解くことができるかを問う試験ですので、今回の実力テストは、その名の通り、合格に必要な基本事項が理解できているか、計算速度は十分か、計算ミス・勘違いなく、確実に得点できているかなどの「本試験を合格するための実力」を問うテストとなっています。

したがって、実力テストの目標点は100点としています。本試験でケアレスミスなどで失点がないよう、気を付けて回答するように心がけましょう。また、今回の実力テストをふまえて、何が足りていないかを自覚し、今後の糧としたり、内容の振り返りとしても活用いただければと思います。

今後、本試験に向けて仕上げていく時期になります。焦らず一つずつ着実に学習を進め、電験三種合格を勝ち取りましょう！